

令和 6 年度「第 3 次青森県子ども・若者育成支援推進計画」関連事業一覧

【基本目標Ⅱ】 困難を有する子ども・若者やその家族へのきめ細かな支援

重点目標 4 いじめ、不登校、高校中途退学等への対応の充実を図ります

No.	R6部局名	R6課名	事業名	重点目標項目				重点 事業	新規 継続	R6予算額 (千円)	令和 5 年度の取組状況	令和 6 年度の主な事業内容	令和 6 年度の取組状況	施策の 方向性等
1	こども家庭部	若者定着還流 促進課	ジョブカフェあおもり推進・ 運営事業 【重点目標 2、3 に再掲】	2	3	4			継続	94, 100	15歳から45歳未満の若年者の就職活動を支援する ため、仕事に関する相談や情報収集、各種セミ ナー等を実施した。 来館者：14, 180人、就職者：2, 214人	15歳から45歳未満の若年者の就職活動を支援する ため、仕事に関する相談や情報収集、各種セミ ナー等を実施する。	15歳から45歳未満の若年者の就職活動を支援する ため、仕事に関する相談や情報収集、各種セミ ナー等を実施した。 ※令和7年3月末時点 来館者：14, 928 人、就職者：2, 117人	2②
2	こども家庭部	県民活躍推進 課	教育相談体制の整備事業（特 色教育支援経費補助）	4					継続	9, 600	教育相談体制を整備するため、いじめ防止に係る 校内研修会や生徒等へのカウンセリングに要する 経費について、7法人8校に対して補助金を交付し た。	教育相談体制を整備するため、いじめ防止に係る 校内研修会や生徒等へのカウンセリングに要する 経費に対し、補助金を交付する。	教育相談体制を整備するため、いじめ防止に係る 校内研修会や生徒等へのカウンセリングに要する 経費について、7法人10校に対して補助金を交付し た。	1①②③
3	こども家庭部	県民活躍推進 課	地域の見守りで輝く笑顔推進 事業 【重点目標 1、12、13に再 掲】	1	4	12	13		継続	2, 853	学校・家庭・地域が一丸となっていじめ防止に取り 組む気運を高めるとともに、地域全体で子ども を見守る環境づくりの促進と、子どもたちの孤立 感の解消や明るく前向きに未来へ進んでいく気持 ちを醸成するため、県内一斉声かけ活動、他人を 思いやり命を大切にすることを育む対話集会や各種 媒体を活用した普及啓発等を実施した。 また、未来応援メッセージソング「笑顔の未来 へ」を対話集会で活用するとともに、県内全小・ 中・高校と特別支援学校へ、相談先ステッカーを 配付するなどの普及啓発を実施した。	学校・家庭・地域が一丸となっていじめ防止に取り 組む気運を高めるとともに、地域全体で子ども を見守る環境づくりの促進と、子どもたちの孤立 感の解消や明るく前向きに未来へ進んでいく気持 ちを醸成するため、県内一斉声かけ活動、前向き に生きる力を育むふれあいミーティングや各種媒 体を活用した普及啓発等を実施する。	学校・家庭が一丸となって地域全体でこどもを見 守る環境づくりの促進と、こどもたちの孤立感の 解消や明るく前向きに未来へ進んでいく気持ちを 醸成するため、「地域の力でこどもを育む県内一 斉声かけ活動」（年4回）と「前向きに生きる力を 育むふれあいミーティング」（中学校3、高校3の 計6校）を実施した。 また、県内全小・中・高校と特別支援学校へ、相 談先電話番号記載のステッカーを配付するなどの 普及啓発を実施した。	1①
4	教育庁	学校教育課	特別支援学校技能検定事業	4					継続	3, 685	特別支援学校高等部生徒の社会的・職業的自立を 促進するため、青森県版「特別支援学校技能検 定」の充実を図るとともに、「青森県特別支援学 校技能検定・発表会」を開催した。	引き続き、特別支援学校高等部生徒の社会的・職 業的自立を促進するため、青森県版「特別支援学 校技能検定」の充実を図るとともに、「青森県特 別支援学校技能検定・発表会」を実施する。 また、「特別支援学校就職サポート隊あおもり」 登録企業を増やし、生徒の進路実現のための体制 整備を進め、特別支援学校におけるキャリア教 育・職業教育の充実を図る。	特別支援学校高等部生徒の社会的・職業的自立を 促進するため、青森県版「特別支援学校技能検 定」の充実を図るとともに、「青森県特別支援学 校技能検定・発表会」を開催した。	2①
5	教育庁	学校教育課	学校の教育相談体制充実を支 援する外部専門家活用事業 【重点目標 6、7、12に再 掲】	4	6	7	12		継続	154, 359	スクールカウンセラーについて、県内全ての公立 小・中学校への定期派遣及び市町村教育委員会 からの要請に応じた緊急派遣を行うとともに、県立 高等学校 7 校と県立特別支援学校 1 校への定期 派遣を実施した。 また、小中連携型配置校及び同一市町村で同一ス クールカウンセラーが配置されている学校で配置 日時（時間）の弾力的運用を実施し、効率的・効 果的な活用を促進した。 スクールソーシャルワーカーについて、各教育事 務所に 3 ～ 5 名配置し、全小・中学校の要請に応 じて派遣するとともに、県立学校に 1 ～ 3 名配置 し、地区の各校の要請に応じて対応した。	スクールカウンセラーについて、県内全ての公立 小・中学校への定期派遣及び市町村教育委員会 からの要請に応じた緊急派遣を行うとともに、県立 高等学校 1 1 校と県立特別支援学校 1 校への定期 派遣を行う。 また、小中連携型配置校及び同一市町村で同一ス クールカウンセラーが配置されている学校で配置 日時（時間）の弾力的運用を実施し、効率的・効 果的な活用を促進する。 スクールソーシャルワーカーについて、各教育事 務所に 3 ～ 6 名配置し、全小・中学校の要請に応 じて派遣するとともに、県立学校に 1 ～ 3 名配置 し、地区の各校の要請に応じて派遣する。	スクールカウンセラーについて、県内全ての公立 小・中学校への定期派遣及び市町村教育委員会 からの要請に応じた緊急派遣を行うとともに、県立 高等学校 1 1 校と県立特別支援学校 1 校への定期 派遣を実施した。 また、小中連携型配置校及び同一市町村で同一ス クールカウンセラーが配置されている学校で配置 日時（時間）の弾力的運用を実施し、効率的・効 果的な活用を促進した。 スクールソーシャルワーカーについて、各教育事 務所に 3 ～ 6 名配置し、全小・中学校の要請に応 じて派遣するとともに、県立学校に 1 ～ 3 名配置 し、地区の各校の要請に応じて対応した。	1②、2①
6	教育庁	学校教育課	24時間いじめ等電話相談事業 【重点目標 6 に再掲】	4	6				継続	13, 011	学校教育課生徒指導支援Gとハートケアアドバイ ザーが平日9：00～17：00の間対応した。 上記以外は、業者委託により24時間電話相談に対 応した。	学校教育課生徒指導支援Gとハートケアアドバイ ザーが平日9：00～17：00の間に対応する。 上記以外は、業者委託により24時間電話相談に対 応する。	学校教育課生徒指導支援Gとハートケアアドバイ ザーが平日9：00～17：00の間対応した。 上記以外は、業者委託により24時間電話相談に対 応した。	1①②
7	教育庁	学校教育課	ソーシャルメディア等監視員 配置事業 【重点目標 7 に再掲】	4	7				継続	4, 832	学校教育課内にソーシャルメディア等監視員 1 名 を配置し、SNS等インターネットサイトの書き込み 等について、各学校へ情報提供を行った。	学校教育課内にソーシャルメディア等監視員 1 名 を配置し、SNS等インターネットサイトの書き込み 等について、各学校へ情報提供を行う。	学校教育課内にソーシャルメディア等監視員 1 名 を配置し、SNS等インターネットサイトの書き込み 等について、各学校へ情報提供を行った。	1①

No.	R6部局名	R6課名	事業名	重点目標項目				重点枠事業	新規継続	R6予算額 (千円)	令和5年度の実施状況	令和6年度の実施内容	令和6年度の実施状況	施策の方向性等
8	教育庁	学校教育課	安心できる学校づくり推進事業	4					継続	1,488	ハートフルリーダー等を対象に、いじめ防止対策の取組等に関する研修を実施し、組織的対応力の向上や教員の指導力向上を図った。 県立学校を対象に、Web会議システムを介して精神科医から専門的な助言及び指導を受けることができる体制を整えた。 いじめ問題対策連絡協議会を開催し、いじめに関する諸問題について、関係機関の取組等の情報交換を行った。	ハートフルリーダー等を対象に、いじめ防止対策の取組等に関する研修を実施し、組織的対応力の向上や教員の指導力向上を図る。 県立学校を対象に、オンライン通信により精神科医から専門的な助言及び指導を受けることにより、生徒の個別支援の充実を図る。 いじめ問題対策連絡協議会を開催し、いじめに関する諸問題について、関係機関の取組等の情報交換を行う。	ハートフルリーダー等を対象に、いじめ防止対策の取組等に関する研修を実施し、組織的対応力の向上や教員の指導力向上を図った。 県立学校を対象に、Web会議システムを介して精神科医から専門的な助言及び指導を受けることができる体制を整えた。 いじめ問題対策連絡協議会を開催し、いじめに関する諸問題について、関係機関の取組等の情報交換を行った。	1①②、2①
9	教育庁	学校教育課	いじめ防止対策事業	4					継続	760	より実効的ないじめ問題の解決のため、いじめの防止、早期対応について、意見を述べるいじめ防止専門員を県立学校に1名配置した。	より実効的ないじめ問題の解決のため、いじめの防止、早期対応について、意見を述べるいじめ防止専門員を県立学校に1名配置する。	より実効的ないじめ問題の解決のため、いじめの防止、早期対応について、意見を述べるいじめ防止専門員を県立学校に1名配置した。	1①
10	教育庁	学校教育課	居場所づくり・絆づくり推進事業	4					継続	664	研究指定校において、小中連携の在り方について調査研究を行った。研究成果を各教育事務所所管の協議会等で発表し、県教育委員会のホームページに掲載した。 不登校児童生徒支援連絡協議会を開催した。 支援や運営等の助言のため、県内各地の教育支援センターに不登校支援コーディネーターを派遣した。	引き続き、不登校児童生徒支援連絡協議会を開催する。 市町村教育委員会の教育支援センター等の設置に向けた支援や運営等の助言のため、青森県総合学校教育センター教育相談課（こころの教育相談センター）内に不登校支援コーディネーターを1名配置する。	不登校児童生徒支援連絡協議会を開催し、不登校に関する理解を深めることや関係機関相互のネットワークづくりを図った。 不登校支援コーディネーターを教育支援センター未設置の町村教育委員会に派遣し、不登校支援に関することや教育支援センターの設置について現状の及び助言を行った。	1①③
11	教育庁	生涯学習課	いじめ防止キャンペーン推進事業	4					継続	6,332	県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴えるCMの主題となる標語を募集した（応募総数11,573点）。 また、優秀賞1作品を原案とするいじめ防止テレビCMを制作し、県内民放3社で放送するとともに、ホームページで公開し、幅広く意識啓発を図った。	引き続き、いじめ問題への理解と認識を深めるため、県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集する。 また、優秀賞1作品を原案とするいじめ防止動画を制作する。令和6年度からはWeb広告配信を実施し、幅広く意識啓発を図る。	県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える動画の主題となる標語を募集した（応募総数9,280点）。 また、優秀賞1作品を原案とするいじめ防止動画を制作してYouTube、Instagram、TikTokの3つのSNS媒体においてWeb広告配信を実施するとともに、ホームページで公開し、幅広く意識啓発を図った。	1①
12	教育庁	生涯学習課	若者の社会参加促進事業 【重点目標6、10に再掲】	4	6	10			継続	688	高等学校に在籍している不登校生徒やひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりへのきっかけを求めている若者の自立支援に向け、「自然体験・交流塾」を実施した。青少年教育施設（種差少年自然の家・梵珠少年自然の家）を拠点に、野外炊事・創作活動等、若者とボランティア、若者同士の関わりやつながりを形成する事業を行った。（参加者数延べ90名）	引き続き、社会とのつながりへのきっかけを求めている若者の自立支援に向け、「自然体験・交流塾」を実施する。青少年教育施設を拠点に、子ども・若者支援団体で形成されているネットワークを活用しながら、若者同士の関わりやつながりを形成する事業を行う。	高等学校に在籍している不登校生徒やひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりへのきっかけを求めている若者の自立支援に向け、「自然体験・交流塾」を実施した。青少年教育施設（種差少年自然の家・梵珠少年自然の家）を拠点に、野外炊事・創作活動等、若者とボランティア、若者同士の関わりやつながりを形成する事業を行った。（参加者数延べ91名）	2①②